

## 日本、英国、米国の株価指数先物の同時点依存関係の検証

### Stock Index Future's Correlative Dependence at the Same Time among Japan, UK and US.

一橋大学大学院生 山崎 邦利

本稿では、日本、英国、米国の株価指数先物の同時点取引における連動性を検証した。1分毎の高頻度データを用いて、2012年～2020年の長期間における各国ボラティリティと相関変化を検証することで、各国間の連動性及び依存性の変化を確認したものである。各国は1分単位でも強い連動性を示すが、その強弱と各国間の依存関係は、観測時期によって変化が認められ、各国イントラデイにおいても時間毎に一定のパターンを持つことが確認された。

本分析の貢献は、高頻度かつ長期間のデータを用いて、コピュラ(copula)と動的条件付き相関(Dynamic Conditional Correlation)、そしてEGARCH(Exponential-GARCH)の組み合わせをもって、確率統計的精度を高めた分析結果を提供することにある。